

平成 28 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	東児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市大洞桜台1丁目33番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,845,371円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,659.48㎡ ◇延床面積:315.23㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児集会室、図書学習室、静養室、事務室、駐車場(岐阜市大洞桜台市営住宅駐車場)		

●利用状況

		H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	5,575	5,810	5,221	5,915	4,845
	移動児童館利用者数	605	336	371	244	265
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	11	8	8	5	5
	開館日数(単位:日)	151	157	151	156	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画通り実施。 ②所長(常勤)、常勤職員2人。(児童厚生員は、所長を含め3人) ③毎月「おたより」を発行し、担当小学校・公民館・コミセンに配布。芥見東・南自治会へ回覧、児童館ホームページの更新。 ④適切に対応し、防止策を確認。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、節電を実施。廃材の活用、有るものの再利用。 ④専門業者による野外遊具の点検。日常的に遊具の不具合や危険がないか確認。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練を1回実施、災害や事故等が起こった場合は指定管理者並びに市へ報告。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの 実施状況</p>	<p>平成29年3月8日(水)～16日(木)に登録制幼児クラブに参加の保護者を対象に無記名によるアンケートを実施 回答者数25名(回答率86%)</p>
<p>利用者アンケートの 実施結果</p>	<p>○児童センター運営について (施設)満足 6人、ほぼ満足12人、普通 5人、やや不満 1人、不満 0人、無回答 1人 (クラブ)満足20人、ほぼ満足 3人、普通 1人、やや不満 0人、不満 0人、無回答 1人 (職員)満足19人、ほぼ満足 4人、普通 1人、やや不満 0人、不満 0人、無回答 1人</p> <p>○楽しかったプログラム(複数回答可、上位のみ記載) なかよしクラブ 終了式と&お楽しみ会 20人、おひなさま作り 19人、新聞紙あそび 16人、節分あそび 16人、サーキットあそび 15人 他 すくすくクラブ 終了式&おかいものごっこ 5人、コーナーあそび 4人、うんどうあそび 4人 大きなバルーンであそぼう 4人、他</p> <p>○参加の幼児クラブ以外で、今後も参加してみたいもの 児童センターまつり(げんきまつり、フェスティバル) 18人 自由参加型幼児クラブ(びよびよクラブ) 13人 食育講座や子育て講演会 7人</p> <p>○クラブで感じたこと 同じ年くらいの子たちといっしょにあそべて、子どもにもいい刺激になったと思う。親同士も仲良くなれてたのしかった。 クラブとても楽しくいろんなアイデアがあり勉強になります。 家ではできない遊びをさせて頂けて、とても楽しかったです。 等</p>
<p>利用者からの 要望・苦情と 対処・改善</p>	<p>要望 ⇒ 回答 駐車場がほしい。階段が大変で危ないです。 ⇒ いつもご利用ありがとうございます。近隣に駐車できる場所がなく、特に寒い日や雨の日などは皆さまに大変ご迷惑かけております。よろしければ、児童センターの前まで栗までお越しくださり、職員に声をかけていただければ、車を駐車されに行く間お子さまをお預かりいたしますので、お気軽に声をかけてください。 電池のないおもちゃが多いです。 ⇒ 申し訳ありません。定期的に点検をしていますが、遊びを妨げるおもちゃがありましたらお知らせください。また、電池は事務室で入れ替えますので、お気軽にお声をおかけください。 子どもが活動できる内容でよかった。今後も製作よりも子どもが主体的にできる活動をお願いしたい。 ⇒ ありがとうございます。今後も、できるだけ皆様のご要望にお応えできる内容やお子さんの年齢に合った活動をしていきたいと思っております。 体操等、妊娠に配慮して頂いてどうもありがとうございます。活動を通じて子どもの成長を感じられてうれしかったです。もう終わりかと思うとさみしいですが、またよろしく願います。 ⇒ こちらこそいろいろご協力いただきありがとうございました。クラブは卒業ですが、今後も是非児童センターをご利用ください。お待ちしております。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>□子育て講座として食育講座(下半期2回)、歯並びの話(1回)を実施した。歯並びの話では9組の参加があり、興味深く聞いていた。 □平成27年度の利用者数 11,136人だったが、平成28年度は11,385人で若干ではあるが増加した。 □学年に関係なくなわとびを一生懸命練習していたので、なわとび選手権を計画・実施した。毎回種目が変わり、その種目に挑戦したい子はエントリーできるという方法で実施したことで、毎回誰でも優勝できるチャンスができるようにした。子どもたちは直前まで練習に励んでいた。前跳びでは2年生男児が811回、二重跳びでは六年生女児が200回(本人の意思でストップ)など、限界まで挑戦できた。小さな賞状をもらいとても喜んでた。 □ □今年度、保健センターより0歳児の広場の案内を配布していただいたので、下半期の利用も期待したが、11月以降、参加者がなかったことは残念であった。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>□地域の方や高齢者の方との交流などは、子どもたちにとってもよい経験になると考えているので、今後も継続しておこなっていく</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□エリア内の小学校の児童数は年々減っているが、全体の利用者数は増加傾向にある。しかし、1～3歳児親子対象の自由参加の幼児クラブや、0歳児親子対象の0歳児の広場の参加は減少傾向にあるため、今後も見直しを図り増加していくように努める。また利用の多かった6年生が来年度は中学生になるため、中学生でも参加できる行事や中学生としてお手伝いできる場を増やしていく。 □今後も地域にある施設を活用し、高齢者をはじめ地域の方々と触れ合う機会を増やしていく。 □アンケートより、おもちゃの電池切れに早めに気づき、いつでも気持ちよく使っていただけるよう努めていく。</p>

●所管課の意見

<p>毎月の「おたより」を担当校区全児童への配布のほか、自治会へ回覧、各公民館やコミュニティセンターにも配置した。また、ホームページを毎月更新するなど、広報活動を幅広く実施した。 新規事業として3月から毎土曜日に「なわとび選手権」を開催した。種目を5つに分け、それぞれの種目においてチャンピオンを決定することで、子どもたちのやる気を引き出す事業となった。 児童対象のチェスや卓球の指導に高齢者を含む地元住民を活用したり、地元の大洞保育園で開催された絵本ライブに幼児クラブの親子が参加したり、児童センターのフェスティバルに園児を招待するなど、地域との連携・交流に努めた。 職員体制や経営状況についても問題なく運営されている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>利用が多い6年生が中学生になっても児童センターに来館を促す仕組みを考えていることは、18歳までの利用を見こした取組みとして大変興味深く、他の児童館・児童センターの事例となるよう今後の展開を期待したい。 「なわとび選手権」において順位付けを行うことにより、子ども達の競争意識や、やる気を引き出し、また社会性を身につける重要な取組みと評価したい。 管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
